



神奈川県

**ラグビーワールドカップ 2019<sup>TM</sup> 及び東京  
2020 オリンピック・パラリンピック競技  
大会推進かながわアクションプログラム**

平成 28 年 10 月

神奈川県

～目次～

プログラム作成の趣旨	1
プログラムの基本的性格	2
取組分野・施策等の体系	3
大会成功に向けた取組み	
1 推進体制の整備	
(1)大会に関する総合調整	5
(2)オール神奈川としての推進体制の整備	6
2 ラグビーワールドカップ 2019 <sup>TM</sup> に向けた取組み	
(1)大会運営に関する取組み	7
(2)横浜市と連携した大会の準備	8
(3)大会に向けた県内の機運の醸成	10
3 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み	
(1)江の島（湘南港）開催に向けた整備	11
(2)交通・輸送対策	12
(3)地元や湘南港利用者への対応	14
(4)大会に向けた機運の醸成	15
4 東京 2020 大会・野球/ソフトボール競技及びサッカー競技に向けた取組み	
(1)横浜市と連携した大会の準備	16

## 大会を契機としたかながわプログラム

### 1 神奈川のおもてなし

- (1) ボランティアの育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (2) 事前キャンプの誘致・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- (3) 治安・防災対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- (4) 医療対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
- (5) 交通網の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
- (6) バリアフリー対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- (7) 来県外国人等への多言語による情報提供・・・・・・・・ 27
- (8) グローバルな視野を持つ人づくり・・・・・・・・・・ 28

### 2 国際観光地としての魅力向上

- (1) 観光客誘致・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- (2) 新たな観光の魅力づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- (3) 観光の基盤づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35

### 3 神奈川から魅せる文化

- (1) 文化プログラムの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

### 4 大会開催を契機としたスポーツ振興

- (1) かながわパラスポーツの推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
- (2) アスリートの育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
- (3) スポーツに親しむ環境の整備・・・・・・・・・・・・・・・・ 44

## プログラム作成の趣旨

平成 27 年 6 月に東京 2020 オリンピック競技大会セーリング競技の江の島開催が、さらに同年 9 月にラグビーワールドカップ 2019™ 決勝戦の横浜開催が、それぞれ決定されたことで、本県は 2 年連続、県内でスポーツのビッグイベントを開催するという絶好の機会を得ることとなりました。

本県では、平成 26 年 8 月に、前年 9 月の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を受け、「オリンピック・パラリンピックのための神奈川ビジョン 2020」を策定し、2020 年に向けて世界に誇れる神奈川の姿と、神奈川から東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を盛り上げていく取組みを示しました。

このビジョンで掲げた考え方は、セーリング競技やラグビーワールドカップの開催決定といった状況の変化を踏まえても、なお、2020 年に向けた本県の取組みの方向性を示すものとして、重要な位置付けを持つものです。

本県としては、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させるとともに、ビジョンに掲げる考え方に基づいて、全庁をあげて神奈川の魅力を発信し、神奈川から両大会を盛り上げていく必要があります。

そこで、県全体の取組みを計画的に推進するため、大会を迎えるに際して必要な具体的施策・事業を明らかにする「ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム」を作成することとしました。

今後は、このプログラムに基づき、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催準備を進めていくとともに、神奈川の魅力を世界に発信していくよう、諸環境の整備を推進します。

### 1 対象期間

平成28年度を初年度とし、32年度を最終目標年度とします（5か年度間）。

ただし、平成31年度（ラグビーワールドカップ2019）を第一目標年度と設定します。

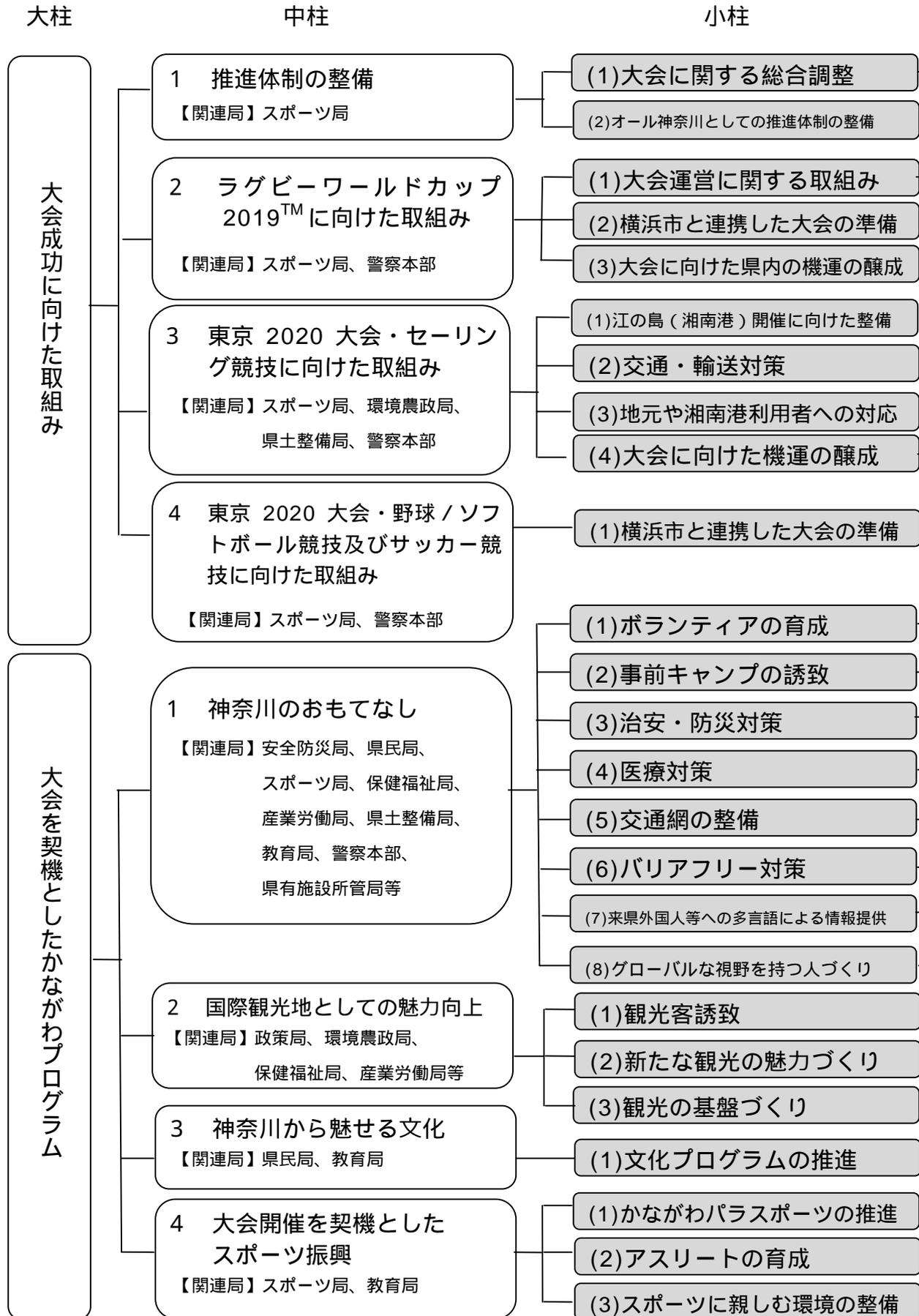
### 2 「ラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム」の見直し

両大会の準備に向けた取組みは、それぞれの組織委員会等との協議調整を通じて今後本格化していくこと、また、大会直前に至るまで、新たな課題の発生が予測されること等から、「ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム」の構成や施策・事業は、必要に応じて毎年度見直すこととします。

### 3 総合計画等との関連

「ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会推進かながわアクションプログラム」は、県の策定する総合計画及び各行政分野毎に策定した個別計画に位置づけた施策・事業のうち、両大会に向けて実施又は拡充・強化を図る施策・事業及び新たに実施を検討する施策・事業を体系化したものとします。

# 取組分野・施策等の体系



## 主な取組事項

太字、下線付きの事項が重点取組事項

組織委員会などの関係機関との総合調整

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 大会に向けた県内推進体制の整備

開催都市分担金の負担等

横浜市と連携したラグビー競技の普及啓発、会場整備等、警備・交通対策等

市町村や企業等と連携した普及啓発

神奈川県会場プラン（調整素案）を基にした大会組織委員会との調整、港湾施設の整備、レース海面案の調整

交通・輸送対策に係る関係団体等との調整、選手・大会関係者の輸送対策の検討、観客等の輸送対策の検討、警備・交通対策等、観客等の歩行ルートのバリアフリー化

既存艇の移動、漁業関係者との調整、地元住民団体等との連絡調整

各種普及啓発活動の実施

横浜市と連携した野球/ソフトボール競技及びサッカー競技の開催準備等、警備・交通対策等

大会ボランティアの参加促進、観光ボランティア等の育成・配備

**各種事前キャンプの誘致、ホストタウンの取組み**

治安対策の推進、テロ対策訓練、防災対策

熱中症対策、感染症対策、公共的施設における受動喫煙防止対策

幹線道路等の整備

バリアフリーの街づくりの推進、県有施設のバリアフリー化

多言語支援センターかながわによる情報提供、医療通訳派遣システム事業の推進、外国人向け医療情報の提供

かながわ国際ファンクラブの推進、コミュニケーション支援ボランティアの育成、外国語教員を対象とした研修の推進、グローバル人材の育成、人権啓発事業の推進

県内を周遊する体験型ツアーの企画・商品化、戦略的プロモーションの推進、県産品の魅力向上、県産農林水産品の発掘及び販売促進

**新たな観光の核づくりの推進、かながわシープロジェクトの推進、三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進**

観光案内・観光情報の多言語化、外国人観光客の動態・ニーズ分析、Wi-Fi等の整備、ホテルの誘致、宿泊施設の多様化の取組み

**文化プログラムの推進**

「**かながわバラスポーツフェスタ**」等の実施、学校におけるかながわバラスポーツの普及、障害者スポーツの普及推進、健康・生涯スポーツの普及推進

体育センターの再整備、アスリートの育成支援、県内中学校・高等学校における部活動活性化、ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致

3033 運動の推進、子どもキラキラプロジェクト、スポーツボランティアの育成

# 大会成功に向けた取組み

## 1 推進体制の整備

### (1) 大会に関する総合調整

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させるため、関係機関と連携・協力します。

#### (取組内容)

円滑な大会実施のため、各大会組織委員会などの関係機関との調整を図ります。

### 組織委員会などの関係機関との総合調整

ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の円滑な実施に向けて、各大会組織委員会（ ）などの関係機関と連携・調整を行います。

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
大会に関する総合調整 (スポーツ局)					
	大会に関する総合調整(関係機関等との連絡調整)				

( ) 各大会組織委員会・・・公益財団法人ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会及び  
公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

# 大会成功に向けた取組み

## 1 推進体制の整備

### (2) オール神奈川としての推進体制の整備

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を成功させるため、地域の市町村や関係団体と一体となった取組みを展開します。

#### (取組内容)

ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、県内推進体制を整備します。

### ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 大会に向けた県内推進体制の整備

ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、庁内に設置した「神奈川県ラグビー・オリパラ・スポーツ施策総合推進本部」により、推進を図ります。

県、市町村、関係団体で構成する「ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議（ラグビー・オリパラ神奈川応援団）」を設置し、市町村や関係団体と一体となった推進体制の整備を図ります。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
オール神奈川としての 推進体制の整備 (スポーツ局)					
	「神奈川県ラグビー・オリパラ・スポーツ施策総合推進本部」の設置・運営				
	「ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議（ラグビー・オリパラ神奈川応援団）」の設置・運営				

# 大会成功に向けた取組み

## 2 ラグビーワールドカップ 2019™ に向けた取組み

### (1) 大会運営に関する取組み

#### (ねらい)

「横浜市・神奈川県」において決勝戦が開催されるラグビーワールドカップ 2019 を成功させるため、大会運営の支援に取り組みます。

#### (取組内容)

大会組織委員会に対して開催都市分担金を拠出するなど、大会運営の支援に取り組みます。

### 開催都市分担金の負担等

ラグビーワールドカップ 2019 の横浜開催を成功させるため、大会組織委員会が行う大会の準備に係る費用の一部を、予算の範囲内で開催都市分担金等として支出するとともに、人的な支援をします。

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
大会運営に関する取組み (スポーツ局)				
	開催都市分担金等の支出 (大会組織委員会への支出)			
	人的支援			

# 大会成功に向けた取組み

## 2 ラグビーワールドカップ 2019™ に向けた取組み

### (2) 横浜市と連携した大会の準備

#### (ねらい)

「横浜市・神奈川県」において決勝戦が開催されるラグビーワールドカップ 2019 を成功させるため、横浜市と協力しながらラグビーの普及啓発や警備・交通対策の準備を進めます。

#### (取組内容)

横浜市と連携し、普及啓発や会場整備を進めます。また、大会を通じての警備・交通対策を進めます。

#### 横浜市と連携したラグビー競技の普及啓発、会場整備等

ラグビーワールドカップ 2015 を契機として高まったラグビーへの注目度を、会場地である横浜市において更に高めていくため、小中学校の教員を対象としたラグビー研修会の実施、ラグビーワールドカップ 2019 を開催する自治体同士の交流、プロモーション動画の作成・放映など、横浜市と連携してラグビーの普及啓発に取り組みます。

ファンゾーンの設置・運営や会場整備等については、横浜市と連携して取り組みます。

#### 警備・交通対策等

ラグビーワールドカップ 2019 の成功に向けて、自治体をはじめとする関係機関との連携を強化し、関連情報の収集を図ります。

テロ等不法事案を防止するための警備諸対策を推進します。

大会組織委員会と連携して選手等大会関係者の輸送計画を策定し、計画に基づいた諸対策を推進します。

運輸事業者等関係機関、団体等と連携した交通総量抑制対策を推進し、会場周辺の交通円滑化を図ります。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
横浜市と連携した大会の準備 (スポーツ局、警察本部)	横浜市におけるラグビーの普及啓発及び会場整備等			
	プロモーション動画の作成			
	警備諸対策の推進			
	交通総量抑制対策			
	交通対策の検討・計画策定			

## タグラグビーについて

タグラグビーは、1990年代の初めにイギリスのデボン州で考案された、新しいスタイルのラグビーです。15人制ラグビーでは、相手を止めるタックルに代表される激しい身体接触がありますが、タグラグビーでは、タックルの代わりに、相手選手の腰に付けた2本の帯状のタグ（リボン）を抜き取ることで、相手の前進をストップさせるため、身体接触や地面に倒れるプレーがないことが特徴です。

日本では、イギリスに留学したラグビー関係者が1996年に用具やガイドブックを持ち帰ったことから知られるようになり、当初は、子ども達がラグビーを始める際の導入として用いられていましたが、その後、学校の授業や地域スポーツで取り入れられるようになり、タグラグビーを楽しむ子ども達が増えてきています。



タグラグビーの様子

# 大会成功に向けた取組み

## 2 ラグビーワールドカップ 2019™ に向けた取組み

### (3) 大会に向けた県内の機運の醸成

#### (ねらい)

「横浜市・神奈川県」において決勝戦が開催されるラグビーワールドカップ 2019 を成功させるため、県内全域において大会の機運を醸成します。

#### (取組内容)

県内市町村や企業等と連携し、県内全域で普及啓発に取り組みます。

#### 市町村や企業等と連携した普及啓発

広く県内全域でラグビーを普及啓発し、ラグビーワールドカップ 2019 への機運を盛り上げるため、市町村と連携したイベント等の実施・支援、社会人ラグビーチームを持つ企業と連携した観戦バスツアーの実施など、県内の市町村や企業、大学等と連携して普及啓発活動に取り組みます。



観戦バスツアーの様子

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
大会に向けた県内の 機運の醸成 (スポーツ局)				
	市町村、企業、大学等と連携した普及啓発活動			

# 大会成功に向けた取組み

## 3 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み

### (1) 江の島（湘南港）開催に向けた整備

#### (ねらい)

東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技に向けた会場の準備を円滑に進めます。

#### (取組内容)

神奈川県会場プラン（調整素案）を基に、大会組織委員会と調整を進めます。また、レガシーとなる施設の整備等を行います。

### 神奈川県会場プラン（調整素案）を基にした大会組織委員会との調整

江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技に向けた準備を円滑に進めるため、神奈川県会場プラン（調整素案）を基に大会組織委員会との調整を進めます。

### 港湾施設の整備

セーリング競技の開催に必要な港湾施設の整備・改修を行います。

### レース海面案の調整

オリンピックにふさわしい競技運営、観戦客への配慮、漁業への影響等を考慮し、レース海面案について大会組織委員会との調整を進めます。

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
江の島（湘南港）開催に向けた整備 （スポーツ局、県土整備局、 環境農政局）			1	2	3
	会場プランの大会組織委員会との調整				
	港湾施設の設計				
1...テストイベント（プレ大会） 2...テストイベント（プレ大会） 3...本大会	港湾施設の整備・改修				

# 大会成功に向けた取組み

## 3 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み

### (2) 交通・輸送対策

#### (ねらい)

江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技を成功させるため、会場周辺道路等における交通・輸送対策について、大会組織委員会との調整を進めます。

#### (取組内容)

選手・大会関係者・観客等の交通・輸送対策について関係団体等との連絡調整等を行い、大会組織委員会と輸送対策案の調整を進めます。また、警備諸対策や交通規制等交通対策を推進するとともに、観客等の歩行ルートのバリアフリー化を進めます。

#### 交通・輸送対策に係る関係団体等との調整

会場周辺の交通・輸送対策について、地元自治体や鉄道・バスなどの公共交通機関、商工会議所、観光協会などをメンバーとした「江の島セーリング競技推進連絡会議」を設置し、交通・輸送対策に関する連絡調整や情報交換を行います。あわせて、大会組織委員会と調整を進めます。

#### 選手・大会関係者の輸送対策の検討

選手・大会関係者について、ストレスフリーで確実な輸送を確保できるよう、最適な走行ルートの選定や、専用レーン、優先レーンの設定など、大会組織委員会と調整するための輸送対策案を検討します。

#### 観客等の輸送対策の検討

観客等について、多くの人員の円滑な輸送を確保できるよう、最寄駅と競技会場間の歩行ルートの設定や、シャトルバスの最適な運行ルートなど、大会組織委員会と調整するための輸送対策案を検討します。

## 警備・交通対策等

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、自治体をはじめとする関係機関との連携を強化し、関連情報の収集を図ります。

テロ等不法事案を防止するための警備諸対策を推進します。

開催時期における慢性的な渋滞箇所等の交通状況を調査分析し、必要に応じてオリンピッククレーン等路線ごとの交通規制及び会場周辺のエリアによる交通規制等、大会組織委員会と調整するための最も効果的かつ必要最小限度の交通規制計画案を検討します。

隣接都県及び関係機関と連携した、広域的な交通総量抑制対策を推進します。

## 観客等の歩行ルートのバリアフリー化

最寄駅と競技会場間における観客等の歩行ルートについて、誰にでもやさしいバリアフリー化の現状を確認し、必要な対策を進めます。

観客等の歩行ルートに設置されている信号機について、経過時間表示機能付き歩行者用灯器や音響装置付信号機の整備を検討します。

## 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
交通・輸送対策 (スポーツ局、県土整備局、警察本部)			1	2	3
	交通・輸送対策に係る関係団体等との調整				
	大会組織委員会との調整				
	選手・大会関係者・観客等の輸送対策の検討				
	交通規制計画案の検討				
	信号機等交通安全施設整備、更新の検討				
	観客等の誘導ルートのバリアフリー工事				
1...テストイベント(プレプレ大会) 2...テストイベント(プレ大会) 3...本大会					
県管理道路のバリアフリー対策調査					

# 大会成功に向けた取組み

## 3 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み

### (3) 地元や湘南港利用者への対応

#### (ねらい)

江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技を成功させるため、地元や湘南港を使用しているヨット等の利用者との調整を進めます。

#### (取組内容)

セーリング競技実施に伴う湘南港を使用しているヨット等の利用者や周辺漁業等に生じる影響について、地元住民団体や利用者、漁業関係者等との調整を十分に行います。

#### 既存艇の移動

競技実施に伴う既存艇の移動等の影響について、説明・意見交換会の実施や移動についての利用者の意向把握、マリナー等の受入に関する調査などを実施し、必要な時期に移動が円滑に行われるよう、調整を進めます。

#### 漁業関係者との調整

セーリング競技に伴う漁業の影響への対応について、漁業関係者と調整を進めます。

#### 地元住民団体等との連絡調整

江の島に生活の基盤がある地元住民団体等と意見交換や情報共有を行い、大会組織委員会等にも地元の意向を伝え、地元と一体となった大会運営を目指します。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
地元や湘南港利用者への対応 (スポーツ局、環境農政局、 県土整備局)			1	2	3
				既存艇の移動	
	利用者説明・調整				
	漁業関係者・大会組織委員会等との調整				
	地元住民団体等との連絡調整				
1...テストイベント(プレ大会) 2...テストイベント(プレ大会) 3...本大会					

# 大会成功に向けた取組み

## 3 東京 2020 大会・セーリング競技に向けた取組み

### (4) 大会に向けた機運の醸成

#### (ねらい)

江の島で開催される東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技を成功させるため、大会の機運を醸成します。

#### (取組内容)

東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技開催に向けた機運醸成のため、広報活動を実施します。

#### 各種普及啓発活動の実施

東京 2020 オリンピック競技大会のセーリング競技成功に向け、作成したロゴマーク、ポスター、ノボリ及びイメージ動画等を活用し、セーリングの認知拡大を図ります。

子どもや障害者を対象にした海上でのセーリング体験会や陸上でのセーリングに親しめるイベント等を実施し、セーリングの普及啓発に取り組みます。



江の島セーリングロゴ



セーリング競技の様子



セーリング陸上体験イベントの様子



セーリング海上体験会の様子

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
大会に向けた機運の醸成 (スポーツ局)					
	各種セーリング体験会の実施				
	大会関連イベントの実施				
	セーリング動画放映・ポスター掲示				

# 大会成功に向けた取組み

## 4 東京 2020 大会・野球/ソフトボール競技及びサッカー競技に向けた取組み

### (1) 横浜市と連携した大会の準備

#### (ねらい)

東京 2020 オリンピック競技大会において、横浜スタジアムが主会場予定地とされている野球/ソフトボール競技及び横浜国際総合競技場で開催されるサッカー競技を成功させるため、横浜市と協力しながら開催準備や警備・交通対策の準備を進めます。

#### (取組内容)

横浜市と連携し、開催準備等を進めるとともに、警備・交通対策を進めます。

### 横浜市と連携した野球/ソフトボール競技及びサッカー競技の開催準備等

東京 2020 オリンピック競技大会において、横浜スタジアムが主会場予定地とされている野球/ソフトボール競技及び横浜国際総合競技場で開催されるサッカー競技に向けた開催準備等を、横浜市と連携して取り組みます。

### 警備・交通対策等

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けて、自治体をはじめとする関係機関との連携を強化し、関連情報の収集を図ります。

テロ等不法事案を防止するための警備諸対策を推進します。

運輸事業者等関係機関、団体等と連携した交通総量抑制対策を推進し、会場周辺の交通円滑化を図ります。

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
横浜市と連携した大会の準備 (スポーツ局、警察本部)					
		横浜市と連携した開催準備等			
		警備諸対策の推進			
			交通総量抑制対策		

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

### (1) ボランティアの育成

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、活躍が期待されるボランティアの育成に努めます。

#### (取組内容)

大会ボランティアへの参加促進を進めるとともに、観光ボランティア等の育成・配備も併せて推進します。

#### 大会ボランティアの参加促進

大会組織委員会が組織する大会ボランティアへの参加促進等に向けた取組みに協力します。

#### 観光ボランティア等の育成・配備

外国人観光客が、安心して快適に、移動・滞在・観光することができる環境を提供するため、おもてなし人材の育成に関する研修会等を実施します。

より多くの県内事業者（タクシー運転手、宿泊施設、観光施設、土産物販売施設の方）等に外国人観光客への基礎的なおもてなしスキルを身につけていただき、県全体でのおもてなし環境の整備に努めます。

県内を訪れるろう者に手話を使った基本的な案内や応対ができるよう、民間事業者や関係機関等に対して手話講習の実施を働きかけます。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
ボランティアの育成 (スポーツ局、保健福祉局、 産業労働局)			大会ボランティアの参加促進			
			おもてなし人材育成のための研修会の企画及び実施			
			民間事業者・関係機関等に対する手話講習の実施の働きかけ			

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

### (2) 事前キャンプの誘致

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた各国・地域の事前キャンプの誘致等により、スポーツ振興、国際交流・理解の促進及び大会機運の醸成などを図ります。

#### (取組内容)

世界のトップアスリートに神奈川の魅力を伝え、県民との交流を実現するため、ラグビーワールドカップ 2019 に係る事前キャンプを誘致します。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に係る各国・地域の事前キャンプを県内市町村と誘致するとともに、国のホストタウン制度を活用し、各国・地域の選手等と地域住民との交流に取り組みます。

#### 重点

#### 各種事前キャンプの誘致

ラグビーワールドカップ 2019 について、平成 28 年 5 月に、大会組織委員会から、公認チームキャンプ地ガイドラインが発表されました。そこで、「公認チームキャンプ地」及び「公認チームキャンプ地以外のキャンプ地」について、県内市町村と連携し積極的に誘致活動を展開します。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会について、神奈川県は、全国に先駆けて、県内全市町村と連携し「神奈川 2020 事前キャンプ誘致等委員会」を立ち上げ、多言語による「KANAGAWA 事前キャンプガイド」の作成、各国大使館・競技団体への働きかけ等を通じ、事前キャンプの誘致に積極的に取り組んでいます。

平成 27 年 9 月には、県内の事前キャンプ決定第 1 号となる、エリトリア国と協定書を締結しました。

平成 28 年 8 月から開催された「リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会」を契機に、各国の事前キャンプ選定が活発化していくことから、県として更なる誘致活動を展開します。



エリトリア国との協定書締結の様子

**重点****ホストタウンの取組み**

平成 27 年 9 月にエリトリア国との事前キャンプに係る協定書を締結し、神奈川県、小田原市、箱根町、大磯町連名でホストタウンに申請しました。現在、エリトリア国のアスリートや関係者との交流等を通じ、地域における SKY プロジェクト（「（S）スポーツの振興」「（K）教育文化の向上」「（Y）友好関係の構築」）の取組みを進めています。

平成 28 年 10 月現在、県ではこのエリトリア国を含む、5 件がホストタウンとして登録されています。

**実施スケジュール**

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
事前キャンプの誘致 (スポーツ局)	事前キャンプアンパサダーによる誘致活動				
	事前キャンプに係る視察受入				
				事前キャンプの受入	
	交流事業の実施				

**事前キャンプとは**

オリンピック・パラリンピック競技大会等、大規模で世界的なスポーツ競技大会が開催される際、各国の選手団が時差や気候などが似た環境でコンディションを調整するためのキャンプを一般的に「事前キャンプ」と言い、通常、大会前や選手村等に入村する前の 1～2 週間行われます。

事前キャンプを実施するチームの公開練習やアスリートと地域との交流事業の実施等により、スポーツ振興や国際交流・国際理解の進展が期待されるとともに、世界各国のメディアがキャンプ地等取材することにより、地域の知名度向上や観光等の産業振興も期待されます。

< 東京 2020 大会に係る全国の事前キャンプ決定状況 (平成 28 年 10 月現在) > < 神奈川県事前キャンプガイド >

	自治体名	相手国	決定時期	備考
1	福岡県・福岡市	スウェーデン	2014.10	
2	千葉県山武市	スリランカ	2014.12	
3	静岡県・焼津市・伊豆の国市	モンゴル	2015.8	レスリング、柔道
			2016.5	パラ陸上
4	神奈川県・小田原市・箱根町・大磯町・星槎グループ	エリトリア	2015.9	



5	青森県今別町	モンゴル	2015.10	フェンシング
6	岐阜県	イギリス	2015.11	主に高地トレーニングを実施
7	東京都世田谷区	アメリカ	2015.11	
8	神奈川県横浜市・川崎市・慶應義塾大学	イギリス	2016.2	
9	和歌山県	カナダ	2016.2	競泳
10	和歌山県	オーストラリア	2016.2	陸上
11	新潟県・燕市	モンゴル	2016.4	パラアーチェリー
12	千葉県・佐倉市・成田市・印西市・順天堂大学	アメリカ	2016.5	陸上
13	千葉県・千葉市・習志野市・香取市・松戸市・流山市・館山市	オランダ	2016.7	陸上・柔道・バレーボール・トライアスロンなどパラを含む計 22 競技
14	佐賀県	オランダ	2016.7	空手
15	埼玉県寄居町	ブータン	2016.10	陸上
16	神奈川県・平塚市	リトアニア	2016.10	

【神奈川県調べ】

## ホストタウン構想とは

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の参加国・地域と全国の自治体とが人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、スポーツ立国・共生社会の実現、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、政府全体で推進している取組みです。

各自治体は、相手国・地域と 2020 年以降も見据えた交流計画を作成し、ホストタウンとして登録を受けます。交流計画には、「大会参加のため来日する選手・関係者と住民」、「大会参加国の関係者と住民」、「日本人オリンピック・パラリンピアンと住民」が交流する計画を含んでおり、相手国・地域とのスポーツでの交流だけでなく国際交流や地元の観光振興も期待できます。

< 神奈川県の自治体でホストタウンに登録されている計画（平成 28 年 10 月現在） >

	相手国	登録県・市町
1	エリトリア	県・小田原市・箱根町・大磯町
2	イギリス	横浜市
3	イギリス	川崎市
4	リトアニア	平塚市・県
5	ニュージーランド	厚木市



エリトリア国との交流の様子

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

### (3) 治安・防災対策

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、本県を訪れる各国の選手や関係者、国内外からの旅行者の安全・安心を確保するため、治安対策を推進します。

#### (取組内容)

本県の治安対策を推進するとともに、テロ対策の訓練を実施します。また地震・津波等の防災対策も同時に推進します。

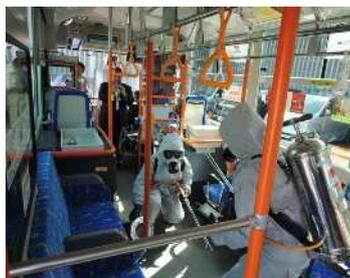
### 治安対策の推進

ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う関連情報の収集・分析を強化し、県民をはじめ本県を訪れる各国の選手や関係者、旅行者等の安全・安心を確保するための各種対策を推進するとともに、関係機関・団体、企業、地域住民等と緊密に連携し官民一体型のテロ対策を推進します。

サイバー空間の脅威に対処するため、重要インフラ事業者等との共同対処訓練による対処能力の向上を図るなど、対策を強化します。

### テロ対策訓練

テロ等緊急事態の発生に備え、迅速的確に対処して被害の拡大を防止するため、テロや大規模災害等を想定して、部隊の対処能力を強化するとともに、関係機関と連携して訓練に取り組みます。



テロ対策訓練の様子

## 防災対策

大規模災害発生時の初動対応における救急医療等を主体とした実践的訓練「ビッグレスキューかながわ」や、海浜利用者等への津波情報の伝達及び関係各機関の相互連携体制の強化などを目的とした「津波対策訓練」を実施し、災害時の応急活動体制を強化するなど、「災害に強いかながわ」を目指した取組みを一層推進します。



ビッグレスキューかながわの様子

### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
治安・防災対策 (安全防災局、スポーツ局、 警察本部等)					
	テロ災害対策、サイバー攻撃対策等の推進				
	災害対応力の強化				
		緊急交通路指定想定路線の検討、計画策定			

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

### (4) 医療対策

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、本県を訪れる各国の選手や関係者、国内外からの旅行者が、健康に不安を感じることなく滞在できるよう対策を実施します。

#### (取組内容)

熱中症や感染症の予防対策を進めるとともに、感染症指定医療機関の機能強化や、患者の搬送等訓練を行うことで、感染症が発生した場合、安全で迅速な対応ができるよう対策を検討します。

また、公共的施設における受動喫煙防止対策に取り組みます。

#### 熱中症対策

熱中症を未然に防ぐための予防対策に取り組みます。

日本の気候に慣れていない国外からの旅行者に向けて、熱中症予防のポイントや予防方法等について、情報発信するとともに、注意喚起します。

#### 熱中症にならないために

のどが渴いていなくても、こまめに水分をとる。

十分な睡眠と食事に気をつける。

外出時は、日差しを避ける。

屋内を涼しくする。



#### 感染症対策

感染症を流行させないよう予防対策に取り組みます。

各国の選手や関係者、国外からの旅行者に向けて、必要に応じて予防方法や注意喚起等、情報提供を行い、感染症対策を進めます。

感染症患者を受け入れる感染症指定医療機関の再整備への支援を検討するなど、感染症病棟の機能の充実を図ります。

県内で感染症患者が発生した場合に備えて、保健所、医療機関等関係機関が連携した患者の搬送等訓練を行い、安全かつ速やかに患者搬送が実施できる体制を整備します。

## 公共的施設における受動喫煙防止対策

各国の選手や関係者、国内外からの旅行者を受動喫煙による健康への悪影響から守るため、公共的施設における受動喫煙防止対策を進めます。

各国の選手や関係者、国内外からの旅行者が、自らの意思で受動喫煙による健康への悪影響を防止できるよう、受動喫煙防止対策の取組みを発信します。



神奈川県受動喫煙防止条例  
キャンペーンのロゴマーク

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
医療対策 (スポーツ局、保健福祉局、 産業労働局等)					
	熱中症予防の普及啓発・注意喚起				
	感染症対策の推進、各国選手や国外旅行者に対する情報提供、注意喚起				
	公共的施設における受動喫煙防止対策の周知・徹底				
	各国選手や国内外からの旅行者に対する本県の受動喫煙防止対策の発信				

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

### (5) 交通網の整備

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を受け、道路や鉄道など、交通ネットワークの充実や既存インフラの活用を推進します。

#### (取組内容)

幹線道路ネットワークの整備を図るとともに、スマートインターチェンジの整備促進などにも併せて取り組めます。

### 幹線道路等の整備

自動車専用道路やインターチェンジ・観光地などにアクセスする道路の整備を重点的に進めます。

幹線道路ネットワークを最大限活用するため、スマートインターチェンジの整備、局所的な渋滞対策、観光地表記などの分かりやすい道路案内標識の整備に取り組めます。

幹線道路の整備に伴い、信号機のLED化、道路標識及び道路標示の高輝度化等交通安全施設の整備を推進します。

### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
交通網の整備 (県土整備局、警察本部)					
	自動車専用道路の整備促進				
	インターチェンジ・観光地などにアクセスする道路の整備				
	スマートインターチェンジの整備				
	局所的な渋滞対策				
	分かりやすい道路案内標識の整備				
	交通安全施設の整備検討・道路管理者との協議				

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

### (6) バリアフリー対策

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、段差解消や幅広歩道の整備など、誰にでもやさしいバリアフリーの街づくりを推進します。

#### (取組内容)

バリアフリーの街づくりを推進するとともに、県有施設のバリアフリー化に取り組みます。

### バリアフリーの街づくりの推進

道路や公園のほか、商業施設、医療施設などの公共的施設について、国内外からの旅行者を含め、誰もが安全かつ快適に利用できるよう、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例で定める整備基準への適合を求めます。

交通・建築関係団体や障害者団体などから構成する神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議によるバリアフリーフェスタなどの普及啓発事業を行います。



バリアフリーフェスタの様子

### 県有施設のバリアフリー化

県有施設について、神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例の整備基準に沿った施設整備を行うなど、バリアフリー化を進めます。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
バリアフリー対策 (保健福祉局、県有施設所管局)					
	みんなのバリアフリー街づくり条例に基づく事業者との協議				
	バリアフリー街づくり推進県民会議による普及啓発等				
県有施設のバリアフリー化					

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

### (7) 来県外国人等への多言語による情報提供

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、外国籍県民や本県を訪れる外国人が安心して暮らし、快適に旅ができるよう、多言語による情報提供を推進します。

#### (取組内容)

多言語支援センターかながわの運営や医療通訳派遣システム事業の活用により、来県外国人等に医療等の円滑な情報提供に取り組みます。

#### 多言語支援センターかながわによる情報提供

日本語を母語としない外国籍県民や来県外国人のため、保健医療・子育て支援・災害などに関し、多言語による情報支援を行う拠点として多言語支援センターかながわを運営します。

災害時等において、緊急に提供することが必要な情報を多言語化します。

#### 医療通訳派遣システム事業の推進

ベトナム語などボランティア通訳者が不足している言語について、通訳者を確保するため、引き続き募集を強化します。

多言語支援センターかながわと連携するなど、より確実に通訳派遣を行えるようシステムのさらなる拡充を図り、持続可能なシステムの構築を検討します。

#### 外国人向け医療情報の提供

外国人旅行者がスムーズに医療機関にアクセスできるよう、県が選定した訪日外国人旅行者の受入が可能な医療機関の情報発信を国と連携して実施します。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
来県外国人等への多言語による情報提供 (県民局、保健福祉局、産業労働局)					
	多言語支援センターかながわによる情報支援				
	医療通訳派遣システム事業の推進				
広報媒体を活用し、医療機関の情報を発信					

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 1 神奈川のおもてなし

### (8) グローバルな視野を持つ人づくり

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、県民の誰もがグローバルな視野を持ち、行動できる人づくりを推進します。

#### (取組内容)

かながわ国際ファンクラブを活用した神奈川に親しみを持つ国内外の外国人のネットワーク化やグローバル化に対応した教育の推進など、将来を見据えた人づくり、人的ネットワークづくりに取り組みます。

### かながわ国際ファンクラブの推進

かながわ国際ファンクラブでは、神奈川の魅力的な情報を発信、交換し、人と人との交流を進め、世界と神奈川をつなぐネットワークをつくり、神奈川に親しみを持つ国内外の外国人の方々や、その方々を支える人々とともに活力ある神奈川をつくることを目指しており、インターネット放送局からの情報発信や、KANAFAN STATION の運営、会員相互の交流会の開催等に取り組みます。

### コミュニケーション支援ボランティアの育成

言語だけではなく、文化的背景の相違も理解して外国人観光客や外国籍県民等をサポートできる人材を育成するため、コミュニケーション支援ボランティア養成講座を実施します。

### 外国語教員を対象とした研修の推進

児童・生徒のコミュニケーション能力の向上や多文化理解等を促進するため、外国語教員を対象とした語学に関する専門的な研修や、授業力向上など専門性を高める研修を実施します。

英語教員の英語力や指導力等を一層向上させるため、国際バカロレア認定推進校の教職員を含め、海外派遣研修等の取組みを推進します。

## グローバル人材の育成

生徒の英語力向上をめざして、英語資格・検定試験の活用促進、国際交流の促進、外国語指導助手の全校配置、グローバル教育研究推進校の指定などに取り組むなど、英語によるコミュニケーション能力を高め、国際的な視野を持ち、多様な価値観を受容できる力の育成を図ります。

## 人権啓発事業の推進

国籍・文化・民族等を問わず、誰もが個人として尊重される地域社会づくりを進めるため、国、市町村、企業、関係団体等と協働・連携して、人権意識の啓発に取り組めます。

### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
グローバルな視野を持つ 人づくり (県民局、教育局)					
	かながわ国際ファンクラブの推進				
	コミュニケーション支援ボランティアの育成				
	外国語教員を対象とした研修の実施				
	グローバル人材の育成				
	人権啓発事業の推進				

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 2 国際観光地としての魅力向上

### (1) 観光客誘致

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会の開催を契機として、観光客の一層の増加を図ります。

#### (取組内容)

観光資源の発掘・磨き上げや戦略的プロモーションの推進、県産品の魅力向上などを通じて、多くの観光客の誘致に取り組みます。

#### 重点

#### 県内を周遊する体験型ツアーの企画・商品化

神奈川ならではの地域資源を磨き上げ、これらの観光資源を盛り込んだ魅力的な周遊ルートを設定します。

地域の旅行業者が、国内外からの来訪者に向けた周遊型・体験型ツアー（スポーツツーリズムなど）を企画・商品化する取組みを促進します。



体験型ツアーの例（貴船神社・真鶴町）

#### 戦略的プロモーションの推進

国際観光戦略にかかる基本コンセプトを構築していくとともに、観光客に神奈川の魅力伝えるコンテンツの制作・発信を行うなど、外国人観光客のニーズに合った戦略的なプロモーションを実施します。

#### 県産品の魅力向上

外国人目線も加えた新たな「かながわ名産」を選定し、アンテナショップ「かながわ屋」を中心に、県産品の魅力を広く発信します。



アンテナショップ「かながわ屋」

#### 県産農林水産品の発掘及び販売促進

神奈川を代表する農林水産品のブランドイメージの定着とさらなるイメージアップを図り、販売促進につなげます。

潜在的な魅力を持った農林水産品を発掘し、ブランド化に向けて取り組みます。



かながわブランドのロゴ



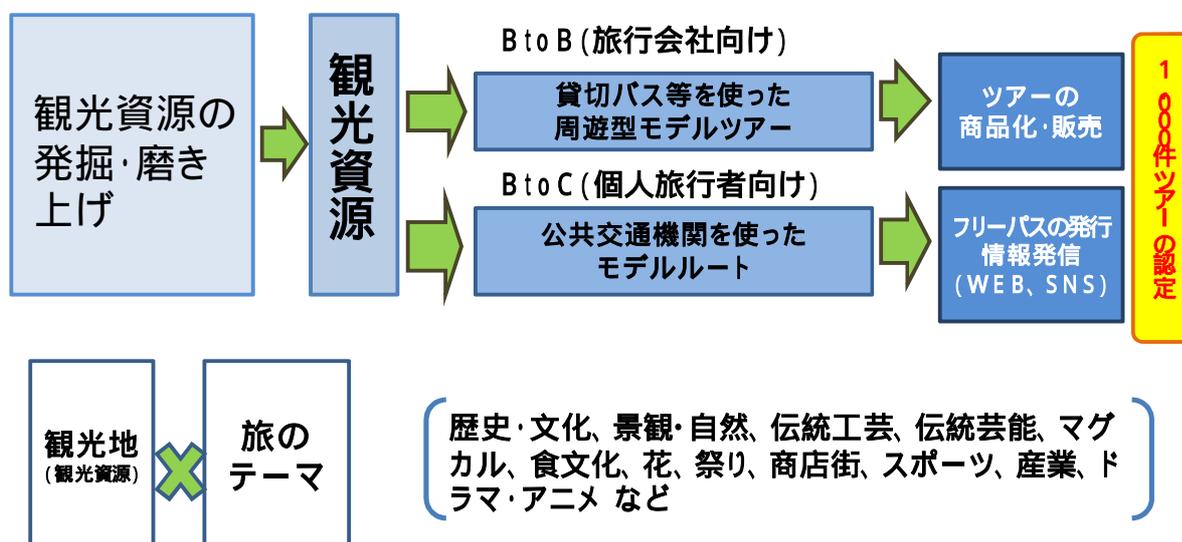
本県で育成したかんきつ「湘南ゴールド」

## 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
観光客誘致 (産業労働局、環境農政局)	県内を周遊する体験型ツアーの企画・商品化 (産業労働局)					
	県内を周遊する体験型ツアーの企画・商品化					
	戦略的プロモーションの推進 (産業労働局)					
	戦略的プロモーションの推進					
	県産品の魅力向上 (産業労働局)	新たな視点での名産品の発掘				
			新名産品を含めたかながわ産品の一層の魅力発信、販路開拓			
	県産農林水産品の発掘及び販売促進 (環境農政局)	代表的な県産農林水産品のブランドイメージの向上、さらなる販路拡大				
	潜在的な農林水産品の発掘とブランド化に向けた取組み					

## 県内を周遊する体験型ツアーの企画・商品化の取組み

取組みのイメージ図



県が旅行業団体、宿泊関係団体、交通事業者等と協議会を設置し、発掘した地域の観光資源を周遊する新たな体験型・滞在型ツアーを認定することにより、1,000件のツアー企画・商品化を目指します。

本協議会は、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議の観光部会としての機能を担うものです。

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 2 国際観光地としての魅力向上

### (2) 新たな観光の魅力づくり

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、地域資源を活かした地域活性化を推進します。

#### (取組内容)

横浜・鎌倉・箱根に続く第4の国際観光地を目指す「新たな観光の核づくり」を推進します。また、神奈川の海に多くの観光客を呼び込む「かながわシープロジェクト」や、「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を推進することにより、新たな観光の魅力づくりに取り組みます。

#### 重点

#### 新たな観光の核づくりの推進

横浜・鎌倉・箱根に次いで、海外にも強力に発信できる魅力的な新たな観光の核づくりを進めるため、企業や市町村などから、その実現のための構想やプロジェクトを募集し、有識者を含む「アドバイザリー委員会」による助言を得ながら、優れたものを新たな観光の核づくりの構想地域として平成24年度に認定しました。

認定地域では、地域の特徴ある資源を活用し、地元の盛り上がりとともに、民間資本の投資を誘引するよう取り組んでいます。

県は、構想の着実な実現に向けた支援を行うとともに、知事によるトップセールスをはじめとした積極的なPRを展開しています。



神奈川県作成 PR ポスター



神奈川県作成各地域 PR 動画

#### 重点

#### かながわシープロジェクトの推進

民間の自由な発想や斬新なアイデアを取り入れて神奈川の海を盛り上げるというコンセプトのもとに、平成26年度に民間の様々な分野のメンバーから構成された「かながわシープロジェクト・プロデュース会議」が設置され、報告書が取りまとめられました。

この報告書の中で示された方策に沿って、マリンスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、その魅力や海の楽しみ方をパッケージにして発信する「Feel SHONAN」キャンペーンを展開し、国内外から多くの観光客を呼び込みます。

## 三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進

三浦半島らしさにこだわった地域活性化策を講じて、三浦半島地域の人口減少対策に取り組むため、県と三浦半島の4市1町が連携して、平成28年3月に「三浦半島魅力最大化プロジェクト」を策定しました。

このプロジェクトの方向に沿って、地方創生の取組みを重点的に展開し、変化に富んだ海岸線や豊富な歴史的文化遺産、農水産業など、三浦半島地域の潜在的な資源の魅力を磨き上げ、三浦半島全体の新たな活力を生み出します。

### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
新たな観光の魅力づくり (政策局、産業労働局等)	新たな観光の核づくり構想の推進				
	海の魅力の発信、海の魅力づくりの推進				
	三浦半島の地域資源の魅力増加				

## 新たな観光の核づくりとは

神奈川県では、城ヶ島・三崎地域、大山地域、大磯地域を新たな観光の核づくりの構想地域として認定し、その実現に向けて地域を盛り上げ、地元と一体となって、新たな観光地づくりを進めています。

平成26年度には、「新たな観光の核づくり等促進交付金」を創設し、それぞれの構想において先導的な役割を果たす事業に対して重点的な支援を行いました。

平成27年、28年度においても同様の交付金事業を実施し、構想の早期実現に向けて取り組んでいます。

### 【交付決定事業】

H26：7事業 68,000千円

H27：6事業 75,000千円

H28：4事業 75,000千円

### 【交付金で整備したもの例】



サイクル拠点(大磯)



絵とろうろ(大山)



イクス釣堀(城ヶ島)

## かながわシープロジェクトとは

平成 26 年度に民間の様々な分野のメンバーから構成された「かながわシープロジェクト・プロデュース会議」が設置され、計 8 回の会議が開催されました。

会議で出された様々な意見やアイデアは、報告書に取りまとめられ、当面、次の 6 つの方策に沿って、神奈川の海の盛り上げにつながる具体的な取組みを進めていくべきとの方向性が示されました。

< 報告書で示された 6 つの方策 >

方策 ： 海外に向けた P R の強化	方策 ： 湘南ブランドの再構築・活用
方策 ： 漁業とマリンスポーツの新たな関係の構築	方策 ： マリンスポーツの裾野拡大
方策 ： 海辺のライフスタイル・カルチャーの打ち出し	方策 ： 漁港の多目的利用

現在、上記 6 つの方策に沿って、「Feel SHONAN」をキャッチフレーズにしたウェブサイトなどによる神奈川の海の魅力の発信、気軽にマリンスポーツを楽しむことのできる「マリンスポーツ体験拠点」の整備、漁協と連携した「ダイビング拠点」の整備、市町村と連携した情報発信などの取組みを進めています。



# 大会を契機としたかながわプログラム

## 2 国際観光地としての魅力向上

### (3) 観光の基盤づくり

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、誰でも快適に旅ができる環境づくりに取り組みます。

#### (取組内容)

観光案内・情報の多言語化を進めるとともに、Wi-Fi の整備、ホテルの誘致などを推進し、観光の基盤づくりに取り組みます。

### 観光案内・観光情報の多言語化

飲食店のメニューの多言語化支援システムを運営するとともに、周辺の観光情報などを多言語化して、インターネットやパンフレットを活用した情報提供を行うことにより、外国人観光客の周遊性を高め、旅行満足度の向上を図ります。



外国人観光客向け店舗情報提供サイト

(South of Tokyo, KANAGAWA food)

<https://kanagawa-guide.jp/>

### 外国人観光客の動態・ニーズ分析

外国人観光客が自国の携帯電話や Wi-Fi 等で通信した際の位置情報を活用し、周遊した地域やルート、季節、時間帯、国籍等の動態分析を行うとともに、SNS データ等を活用した分析を行うことにより、外国人観光客のニーズに応じたプロモーションの実施を目指します。

### Wi-Fi 等の整備

外国人観光客の受入環境整備を目的として、県内の観光関連施設等に対し、Free Wi-Fi 設備及び携帯電話の急速充電器等の整備促進を図ります。

## ホテルの誘致

企業誘致施策「セレクト神奈川 100」において、一定の要件を満たす場合に、土地・建物・設備への投資額に対する補助金の交付や不動産取得税の軽減、低利融資により、ホテルの誘致を行います。



「セレクト神奈川 100」のロゴマーク

## 宿泊施設の多様化の取組み

海外からの旅行者への多様な宿泊ニーズに対応できるよう、国の対応を見極め、県条例の改正等の必要な対応を図ります。

### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
観光の基盤づくり (政策局、保健福祉局、 産業労働局)	観光案内・観光情報の多言語化				
	外国人観光客の動態・ニーズ分析				
	Free Wi-Fi 及び急速充電器等の整備促進				
	「セレクト神奈川 100」の実施				
	宿泊施設の多様化の取組み				

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 3 神奈川から魅せる文化

### (1) 文化プログラムの推進

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、文化芸術を求めて人々が集う神奈川を目指し、神奈川の文化プログラムを推進します。

#### (取組内容)

市町村や関係団体などと連携しながら、マグカルのブランドイメージのもと、オール神奈川で、神奈川の文化プログラムの推進に取り組みます。

#### 重点

#### 文化プログラムの推進

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会や、その前年に開催されるラグビーワールドカップ 2019 では、訪日外国人をはじめとした多くの観光客が本県を訪れます。この機会に多くの方々に本県の文化芸術の魅力に触れていただけるよう、県内市町村とともに、ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会神奈川推進会議の文化プログラム推進部会として、「神奈川県オリパラ文化プログラム推進協議会」を設置し、オール神奈川で文化芸術を発信するなど、文化プログラムを推進します。

この取組みを一過性のものとして終わらせるのではなく、レガシー（遺産）として大会後も継続的な振興、発展につなげるための仕組みづくりに取り組みます。

#### 実施スケジュール

実施項目	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
文化プログラムの推進 (県民局、教育局)	神奈川県オリパラ文化プログラム推進協議会の設置・運営				
	神奈川の文化プログラムの実施 ・文化ホール等での公演の開催 ・美術館・博物館等での展覧会などの実施				

## 文化プログラムとは

文化プログラムとは、「オリンピック憲章」に定められ、スポーツ競技とともに開催国の義務となっている文化関連行事です。

文化プログラムの実施期間は、前のオリンピック・パラリンピック大会終了後から次の大会終了までの4年間で、文化芸術に関わるパフォーマンスや展示、舞台公演などが行われます。

神奈川の文化プログラムをリオデジャネイロオリンピック終了後から実施します。

## マグカルとは

マグカル（マグネット・カルチャー）とは、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいを創出する県の取組みです。



マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー公演



マグカルのロゴマーク



カナガワ リ・古典プロジェクト



神奈川フィルハーモニー管弦楽団

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 4 大会開催を契機としたスポーツ振興

### (1) かながわパラスポーツの推進

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会の開催を契機として、年齢や障害の有無に関わらず、すべての人が自分の運動機能を活かしてスポーツを「する」「観る」「支える」こと＝「かながわパラスポーツ」を推進します。

#### (取組内容)

「かながわパラスポーツフェスタ」等のイベントを実施するとともに、学校におけるかながわパラスポーツの普及を進めます。また、年齢や障害の有無に関わらず、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しむことができるよう、生涯スポーツや障害者スポーツの普及・推進に取り組みます。

#### 重点

#### 「かながわパラスポーツフェスタ」等の実施

障害者スポーツについての県民の理解を深め、年齢や障害の有無に関わらず、すべての人がスポーツをする喜びや仲間ができる楽しみを実感できるよう、「かながわパラスポーツフェスタ」を開催するとともに、市町村等が開催するイベント等で障害者スポーツの体験会等を実施するなど、「かながわパラスポーツ」を推進します。

#### 学校におけるかながわパラスポーツの普及

小・中・高等学校において、パラスポーツのアスリートやパラリンピアンを招いた体験授業等の実施や、日常的にパラスポーツ種目に触れる機会を設けることによって、「かながわパラスポーツ」への理解促進を図ります。

県立特別支援学校において、児童生徒のスポーツに対する意識及び技能を向上させるため、パラスポーツ用具の整備及びアスリート等によるスポーツ教室を開催します。

#### 障害者スポーツの普及推進

障害者がスポーツ活動を行う機会を増やすため、県障害者スポーツ大会等の各種競技会を開催するとともに、障害者スポーツ指導員等の障害者スポーツを支える人材を育成します。

より多くの県民の皆さんに障害者スポーツへの関心を高めてもらうため、東京 2020 パラリンピック競技大会において活躍が期待される神奈川育ちのパラリンピアン育成・強化の支援等を行います。

## 健康・生涯スポーツの普及推進

県民の誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活ができる生涯スポーツ社会の実現のため、子どもの遊びの奨励や高齢者に適したスポーツの普及等を通じて、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進します。また、市町村と連携し、世代を超えてスポーツを楽しめる機会の拡大に取り組みます。

### 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
かながわパラスポーツの推進 (スポーツ局、教育局)	「かながわパラスポーツフェスタ」等の実施				
	小・中・高校におけるかながわパラスポーツの実施				
	県立特別支援学校におけるパラスポーツ用具の整備・スポーツ教室の実施				
	県障害者スポーツ大会の実施・障害者スポーツ指導員等の育成				
	パラリンピアン育成				
	ライフステージに応じた様々なスポーツ活動の推進				

## かながわパラスポーツとは

県では、平成 27 年 1 月に「かながわパラスポーツ推進宣言」を公表し、パラスポーツを「障害のある人がするスポーツ」という考え方から一歩進め、「すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えること = 『かながわパラスポーツ』」と捉え、3つの取組みを推進しています。

### 1 パラリンピアンから学びます

パラリンピアンが自身の運動機能の限界に挑む姿から、体を動かすノウハウや創意工夫、諦めない心、できるようになる喜びを学びます。

### 2 「かながわパラスポーツ」を実践します

年齢、障害などを越えて、スポーツをする喜びや、仲間ができる楽しみを実感できるよう「かながわパラスポーツ」を実践します。

### 3 パラリンピック競技大会を盛り上げます

「かながわパラスポーツ」を実践することで、2020年に東京で開催されるパラリンピック競技大会を神奈川から盛り上げていきます。



車椅子バスケットボールの様子

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 4 大会開催を契機としたスポーツ振興

### (2) アスリートの育成

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、若手を中心とした県内アスリートを育成することにより、競技力の向上を図ります。

#### (取組内容)

県内アスリート育成等のための拠点となるよう、体育センターの再整備を進めます。また、両大会で「神奈川県育ちの選手」として活躍が見込まれる有望アスリートを対象とした支援をするとともに、県内の中学校・高等学校における部活動活性化にも取り組みます。

#### 重点

#### 体育センターの再整備

昭和 43 年の開設以来、約 50 年が経過し、老朽化が顕著になっている体育センターについて、県内アスリートの競技力の向上や「未病を改善する」取組み、かながわパラスポーツ推進宣言に則った対応を図るとともに、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプにも活用できるよう、全ての県民のスポーツ振興拠点として、2020 年(平成 32 年)3月の完成を目指して再整備を進めます。併せて、隣接する総合教育センターと一体的整備を進めます。

#### アスリートの育成支援

東京2020オリンピック競技大会に、神奈川県育ちの選手40人の出場を目指し、JSCトップアスリートを除いた県内の有望選手を対象に助成金を交付します。

#### 県内中学校・高等学校における部活動活性化

参加した誰もが満足できる部活動及びより多くの生徒が参加できる部活動をねらいとして「環境整備の推進」「指導体制の充実」「参加促進」の観点から様々な施策に取り組みます。

部活動強化支援として、特定の種目ごとに強化拠点校を定め、テクニカルコーチ等の専門的指導者を派遣し、定期的な強化練習会を行うことで、才能ある生徒を発掘するとともに、競技力・表現力向上を目指します。

#### ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致

拡充施設の誘致に向け、横須賀市と連携し、関係機関への働きかけなどに取り組みます。

## 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
アスリートの育成 (スポーツ局、教育局)	アスリートの育成支援				
	かながわ部活ドリームプラン 21 version による取組みの実施				
	ナショナルトレーニングセンター拡充施設の誘致				
体育センターの 再整備 (教育局)	再整備工事の実施				スポーツ 施設供用 開始

## 体育センター再整備とは

### 【主な競技施設等の概要】

#### 第2アリーナ・プール棟

- ・ パラスポーツの活動拠点となる第2アリーナや多目的パラスポーツ練習場を整備
- ・ 水泳競技者等の練習拠点となる屋内50mプールを整備

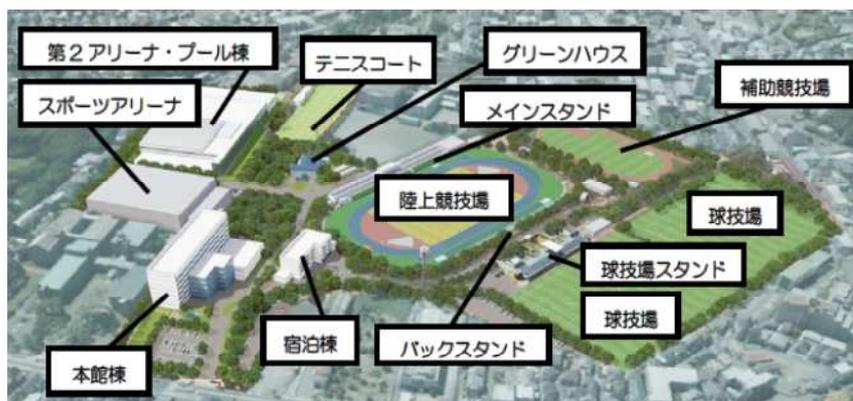
- ・ 専門競技種目(ボクシング、フェンシング、ウェイトリフティング)の練習場を整備

#### 宿泊棟

- ・ 競技団体や学校部活動の合宿などが可能となる全室バリアフリーの宿泊施設を整備

#### 球技場・補助競技場

- ・ 球技場2面(クレー、天然芝)のうち、クレー競技場を人工芝化
- ・ 補助競技場の走路を全天候型舗装するとともに、インフィールドを人工芝化し、夜間照明設備を設置 など



## ナショナルトレーニングセンター（NTC）とは

国の「スポーツ振興基本計画」等に基づき設置された、トップレベル競技者の国際競技力の向上を図るための施設で、現在は東京都北区に「味の素 NTC」が設置されています。

各競技の専用トレーニング拠点を持つことで国際競技力の向上を図りやすくなり、また、複数競技のトレーニング場を一箇所に集約することで、競技団体間の連携を積極的に推進できます。それにより、一競技団体での強化の限界を超えた成果をもたらすと期待されています。

味の素 NTC については、屋外や水上競技に係る施設がないなどの理由から、拡充施設の設置が必要となっています。

味の素 NTC では対応できない競技については、全国各地で「NTC 競技別強化拠点施設」（28 施設、平成 28 年 3 月現在）が指定されており、味の素 NTC との連携により、国際競技力向上のためのトレーニング環境を整備しています。

現在、冬季、海洋・水辺系、屋外系競技を対象とした NTC 拡充施設の横須賀市への誘致を目指し、県は横須賀市と連携して誘致活動を行っています。

# 大会を契機としたかながわプログラム

## 4 大会開催を契機としたスポーツ振興

### (3) スポーツに親しむ環境の整備

#### (ねらい)

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック 競技大会の開催を契機として、誰もが生涯を通じてスポーツに親しみ、健康で豊かな生活ができる生涯スポーツ社会の実現を図ります。

#### (取組内容)

誰もがスポーツに親しめる環境づくりを実現するため、3033 運動や子ども キラキラプロジェクトなどを通して、スポーツを楽しめる機会の創出に取り組みます。また、スポーツボランティアの育成にも併せて取り組みます。

### 3033 運動の推進

市町村や、企業などと連携し、「日常生活の運動化」の考え方の普及に取り組み、1日 30分、週 3 回、3 ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化する「3033 (サンマルサンサン) 運動」を推進します。

### 子ども キラキラプロジェクト

子どもの時から「未病を改善する」基礎をつくるため、体力・運動能力の向上、運動習慣の確立、生活習慣の改善を目的として、「体力向上キャラバン隊」の派遣や運動習慣カードの配布、健康・体力づくりの情報紙の配布など様々な取組みを行います。



子ども キラキラプロジェクトの様子

### スポーツボランティアの育成

県民誰もがスポーツに親しめる環境づくりを実現するため、県内で活動しているスポーツ団体を活用したスポーツボランティアの仕組みづくりに取り組むとともに、障害者スポーツを支える人材を育成します。

## 実施スケジュール

実施項目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
スポーツに親しむ環境の整備 (スポーツ局、教育局)					
	3033 運動の推進				
	子ども キラキラプロジェクトによる取組みの実施				
	スポーツボランティアの育成				

## 3033(サマルサマル)運動

県民の皆さんが、スポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活を送っていただけるよう、1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、習慣化していただく運動です。

県内各地でキャンペーンや講習会等を行っています。



3033 運動の様子





神奈川県

スポーツ局オリンピック・パラリンピック課 調整グループ 電話(045)285-0787(直通)  
横浜市中区日本大通 1 〒231-8588 FAX(045)663-0113  
電話(045)210-1111(代表) 内線 2957